

## お知らせ

## ○久留米附設中学校、学校説明会の延期の期日

6月26日(金)は、大雨が予想されたために「臨時休業」の措置をとらせていただきました。何卒、ご理解ください。

尚、その日に予定されていた「久留米附設中学校の説明会」ですが、延期となります。延期の期日は、**7月21日(火)の5校時(13:55~14:35)**です。どの中学校説明会も保護者の皆様のご参会が可能ですので、ご希望の保護者の皆様は、よろしくお願い致します。

## 感じたことから

## ○ワールドカップの日本代表

現在、スポーツのニュースの中で一番の話題になっているのが「サッカーワールドカップ2026」でしょう。日本もグループリーグを2位で突破し、見事決勝リーグに進みました。

この大会が始まる以前から、選手の皆さんは口をそろえて「私達は優勝を目指しています」と公言しています。その口調から、本気でそう思っていることが伝わるし、これまで積み上げてきた自信がそう言わせているのだと思います。**目標を共有し、一丸となっている**ことがよく伝わります。



また、詳しいことはよくわかりませんが、実際の試合をTVで観戦していても、様々な局面で、選手の皆さんの動きが凄いなと思うことがよくあります。先日行われたスウェーデン戦での得点シーンは、菅原選手→堂安選手→上田選手→堂安選手→前田選手(ゴール)と綺麗に流れていて、きっとたくさん練習してきた中での呼吸で動いているのだろうなと想像できました。選手がたくさんの戦術を理解し、**森保監督を中心にチームがしっかりと組織として機能しているのだろうな、**とTV解説の方々の専門的なお話を聞きながら感じました。

今回、守備やパスなどで貢献している堂安選手ですが、前回のワールドカップの頃は「ここでアピールしたい」という気持ちが強く「批判されても、自分が点を取ればいいのでしょうか」と思っていたそうです。それが今大会では、「自分のゴールより、チームの勝利」を優先する気持ちに、監督さんとお話をしたり、チームのみなさんと一緒にプレーしたりする中で変わってきたそうです。

たくさんの個性あふれるメンバーが、みんな「自分が！自分が！」という気持ちでいたら、チームのまとまりなどできるはずもありません。**それぞれのプレースタイルに応じたポジションでしっかりその役割を全うし、お互いが信頼し合っているからこそ、チームとしてもまとまりはできているのでしょう。また、そのことが、個々の自己実現にもつながっているように思えてなりません。**

学級の学びや生活もそうかもしれません。誰もが「自分が！自分が！」という気持ちが強いと、先生のお話の最中に口をはさんでしまったり、自分勝手に作業を進めたりしてしまうことになりかねません。それでは学びの集中も欠いてしまいます。また、子ども達はそれぞれに個性がある存在なので、それぞれの個性を否定するような言動がみられると、チームのまとまりが薄い学級になってしまうでしょう。

**各学級で掲げている目標を共有し、一人一人が持つ個性を活かし、その個性を皆が尊重した学級の姿になると、どの子にとっても学級は楽しい場になるでしょうし、信頼感、一体感のある学級(チーム)になることでしょう。**

さて、今日の真夜中には、決勝トーナメントの1回戦のブラジル戦があります。観戦したい気持ちは山々でしょうが、子ども達には体調管理の面から、しっかり睡眠はとってほしいと思います。朝起きての朗報を待ちましょう！